

たけうち としこ
武内 俊子

1905（明治38）年～1945（昭和20）年



童謡詩人です。現在の三原市西町にある浄念寺に生まれました。

広島女子専門学校（現在の広島女子大学）に進学しましたが、途中で退学しました。

その後、結婚をして東京の世田谷という所に住むようになります。

1929（昭和4）年ころから、童謡や童話の創作をはじめようになりました。恵まれた家庭環境の中で創作された、子どもの心の清らかさを歌うやさしい詩が、詩人の野口雨情に認められ、それからは先生として野口雨情に教えを受けました。

その後、当時の代表的な子ども向きの本『コドモノクニ』『幼年倶楽部』に、つぎつぎと作品を発表しました。

また、1937（昭和12）年の「かもめの水兵さん」につづいて「リンゴのヒトリゴト」「船頭さん」など多くの童謡が、河村光陽らのすぐれた作曲でレコード化され、全国の子どもたちに広く愛唱されるようになりました。

著書には、詩集『風』、童謡集『赤い帽子・白い帽子』、『武内俊子童謡集』などがあります。

三原市宮浦公園には、「かもめの水兵さん」の童謡碑が建てられています。

僧侶であり世界探検家の渡辺哲信は、俊子の叔父にあたります。

